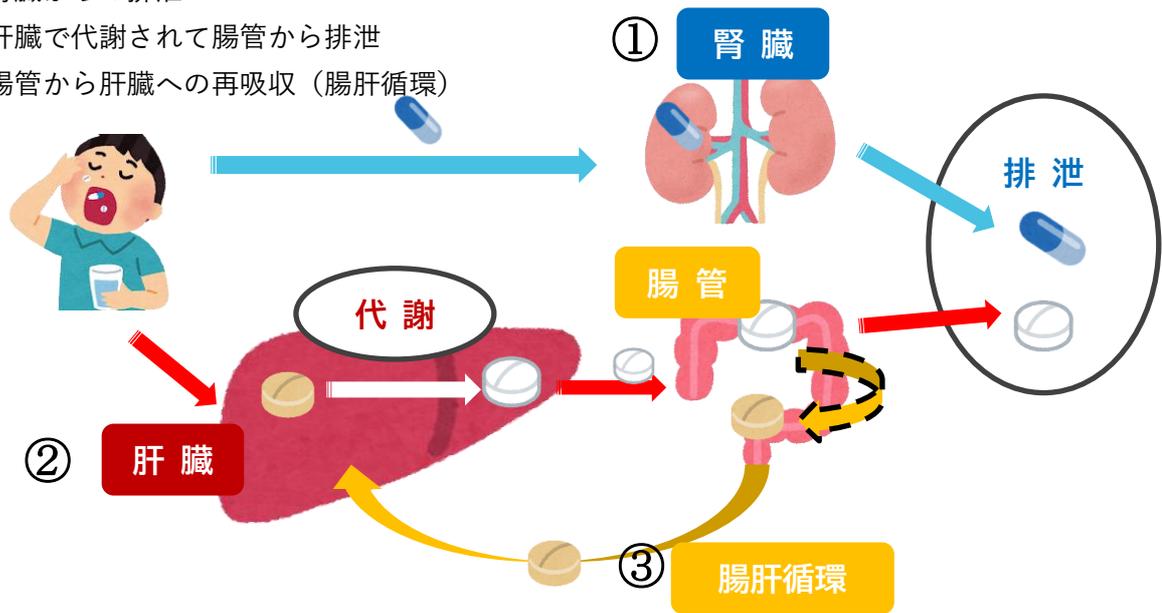


くすりの主な排泄経路

- ① 腎臓からの排泄
- ② 肝臓で代謝されて腸管から排泄
- ③ 腸管から肝臓への再吸収（腸肝循環）



主に肝臓で代謝されるおくすり	アセトアミノフェン (®カロナール) ランソプラゾール、クロピドグレル など
主に腎臓から排泄されるおくすり	プレガバリン (®リリカ) メトホルミン (®メトグルコ) など

早期発見と早期対応のポイント

症状としては「倦怠感」、「発熱」、「黄疸」、「発疹」、「吐き気・嘔吐」、「かゆみ」などがみられると言われています。おくすりを使用して気になる症状があった場合には、お近くの薬局・ドラッグストアの薬剤師、またはかかりつけの医師・看護師に相談してみてください。

また早期対応に一役買うのがお薬手帳となります。お薬手帳には、各医療機関で処方された薬のみならず、ご自身で購入した市販薬やサプリメントについて書くこともできます。災害時にもお薬手帳があるだけで、正確な情報が伝わり、早期に治療を開始することができるとも言われています。医療機関を利用される際は、必ずお薬手帳をご持参ください。

薬物性肝障害は予期せず起こることがあるため注意が必要です。様々なおくすりやサプリメントを服用することで、薬物性肝障害が起こりやすいともいわれています。お薬手帳を活用して、少しでも症状が見られたときには早期に対応できるようにしていきましょう。

《著者紹介》

東海大学医学部付属病院薬剤科
肝臓病教室担当
進藤悠果(左)、名須川茉莉乃(右)

